

岐阜学習センター（21A）

科目コード	2684691	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 心理統計法とは、心理学的な測定から得られたデータを分析し、客観的な結論を導くための方法です。心理学のデータは、個人差などによる誤差が必ず含まれています。そのようなデータに見られるパターンが偶然によるものなのか、偶然とは異なる何かなのかを見極める必要があります。本講義では、統計の様々な値、統計的仮説検定の考え方、よく用いられる検定方法を中心に学びます。 <b>【到達目標】</b> 心理学領域で頻出する統計法について基礎的な理解を目指す。但し、そのためには高い動機づけが必要である。 ・データの尺度水準の見極めができるようになる。 ・基本的な統計量の計算と指標の意味の理解ができるようになる。 ・統計的仮説検定の概念的理解ができるようになる。 ・データに対する適切な分析法の選定ができるようになる。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 なぜ統計学が必要なのか 第2回 数学記号の練習 第3回 記述統計 第4回 推測統計 第5回 統計的仮説検定の考え方 第6回 t検定 第7回 相関係数 第8回 カイ二乗検定 <b>【学生へのメッセージ】</b> 本講義では実際に計算をしながら統計法の初歩を理解することを目標とします。統計処理ソフトウェアの使い方は解説しません。 <b>【受講前の準備学習等】</b> 中学数学の知識（四則計算、平方根、分数、指数など）を適宜復習しておいてください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> 電卓（ルート計算ができるものを用意してください。関数電卓の機能は必要ありません。） <b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。 <b>【参考書】</b> ■推計学のすすめ（佐藤信／講談社／¥1,012／ISBN=9784061177161） <b>【その他（特記事項）】</b> 入門とはいえ、統計学ですので、高い動機づけが必要となります。その点を踏まえ、履修してください。
クラスコード	K		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
科目名	心理統計法入門		
定員	20名		
担当講師	ツキモト　タカシ 月　元　敬 岐阜大学教育学部准教授		
日程 実施時間	■5月16日（土） 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 ■5月17日（日） 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 〈試験・レポート等〉 15:55～16:40		
実施会場	岐阜学習センター		